

平成30年度第3回江別市経済審議会会議録（要旨）

日 時	平成30年11月22日（木） 10:00～12:00
場 所	江別市民会館（37号室）
出席者（10）名	会 長/井上誠司 委 員/小走安則、中野亮二、塩越康晴、山崎雅江、佐山慶司、岸本佳廣、鈴木耕裕、池田太郎、岡村恵子
事務局（10）名	経済部次長、商工労働課長、農業振興課長、商工労働課主査（1名）、農業振興課係長（3名）、ほか3名
欠席者（7）名	副会長/平澤 亨輔 委 員/和田 美和、坂上 伸也、松浦 智幸、杉野 邦彦、皆川 和志、森田 芳明
傍聴者（0）名	-
議 事	審議事項 （1）第4次江別市農業振興計画の策定について

会議録（要旨）

会長	開会のことば
会長	審議会の開会にあたりまして、簡潔な質疑によるスムーズな会議運営にご協力いただきますよう、お願い致します。また、議事録作成のため、発言時には、挙手の上、指名を受けてから発言いただきますよう、ご協力お願い致します。 なお、本日は、平澤副会長、和田委員、坂上委員、松浦委員、杉野委員、皆川委員、森田委員から、所用により欠席ということで、ご連絡をいただいております。
会長	それでは議事を進行いたします。 次第の2、審議事項（1）の「第4次農業振興計画の策定について」、事務局より説明をお願いいたします。
農業振興課長	前回の経済審議会でもいただいたご意見を基に計画案を修正しましたので、ご説明申し上げます。資料をご覧ください。（以降、資料に基づき説明）
会長	ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見等ございましたらお受けしたいと思います。
塩越委員	27ページのブランド化の支援について、ハルユタカのブランド化は非常に重要だと思うが、ハルユタカの生産量の拡大はできるのか。
農業振興課長	ハルユタカは、単体では製品になりにくいという特性があり、他の小麦とブレンドする中でハルユタカの特長が発揮できるという製品になっていくものですから、ハルユタカだけの生産量を拡大していくということにはなかなかならない。他の小麦との生産のバランスをみながら、作付していきたい。
会長	パスコのゆめちからテラスで販売されているパンの原料は、江別産小麦も含まれているだろう。江別にはゆめちからといった食の資源があるのだということを意識してお越しになる方が結構いらっしゃるのではないかと考えられる。この点を踏まえ、ハルユタカ以外の小麦についてもPRすべきではないか。
会長	前回の審議会の資料から、農地関係については加筆されていない。（前回、農地関係について意見を述べた）池田委員、どうでしょうか。
池田委員	耕作放棄地が出た場合はどうするのか。その防止策として、新たな土地利用型作物の生産を推進していただきたい。

会長	20ページでは、耕作放棄地が出る懸念が今のところないという前提で書かれていると思います。ただ、やはり数年後、この計画でいうと5年後、農家の情勢がどうなっているかわかりません。そのための危機対応をするということ踏まえて、計画の策定を進めていただければ。
塩越委員	農業者が辞める時、トラクターなどの農業機械を売り払ってしまい、その後に入った方が農業機械を全部揃えなくてはならず大変だという話を聞いた。農業者が離農する時、農業機械を置いていってもらい、（新規就農者が）入ってすぐ農業ができるシステムは作れないか。
農業振興課長	今のところ、新規参入の方は小規模な野菜などから入っていくことが多く、現状では、（新規参入時から）大規模にトラクターを使ってということはない。しかし、そういった対策が取ればスムーズに新規参入ができると思うので、今後検討して参りたい。
岡村委員	統計を見ると、江別市で農業者はこの5年間で200人減っている。いろいろ考えていくと、後継者を残していくことが非常に大事では。
会長	今は農地が需給マッチングされているが、将来はわかりません。シュミレーションしてみても、今65歳以上の方が70歳以上になると、リタイアされる可能性があり、後継者がいない場合、その方が持っている農地は供給農地ということになる。5年後、どのくらいの農地が供給されるのか。一方、出てきた農地をどれくらいの方が受けられるのか、どれくらいの需要があるか。まず手始めにシュミレーションをして、本当に5年後、農業が（農地の需給に関して）安泰なのかご確認いただくということも、必要では。
山崎委員	スマート農法を活用した生き残りの方法もあるのでは。
岡村委員	スマート農業も小さなことはやっているが、最初の経費をどうするか、どうやって（経営的に）やっていくのかというのがこれからの課題。大々的になっていくのはこれからではと思っている。
農業振興課長	スマート農業については、さまざまな技術が開発されており、江別市内でも、大規模な酪農家等では搾乳ロボットを使って自動的に搾乳している等、取り組んでいる。江別の現状として、10haや20haなど、そういった規模でも何かしら新技術を使えると思うので、国の補助メニューを使いながら、紹介しながら、農業者のみなさんや農協の方とも連携しながら、取り組んで参りたい。
中野委員	6次産業化やグリーン・ツーリズムで、市としての資金的な支援策はお考えか。
農業振興課長	市としての支援では、加工品開発や、建物を建てる時の資金を低利で貸す、農業振興資金の貸付の制度がある。また、6次産業化の推進については、40万円を上限に新商品の開発等に係る経費を補助するという制度がある。そういったものを（事業者）活用していただきながら、6次産業化やグリーン・ツーリズムの関係の拡大を市として支援しているところである。
会長	新商品開発（の補助）については、市の単独事業か。
農業振興課長	お見込のとおり。
会長	そうしたことがここには書かれていない。市でもそういう施策をしているということはこの計画でアピールしてもいいのでは。
会長	36ページの目標値に根拠を示しては、また、農産物を部門別にしてはどうか。今後、TPP等で影響を受けるのではと考える。自由化対象の農作物は厳しい状況になると思われるので、影響を受ける農作物、受けない農作物が出てくると思う。部門によって差があると思うので、稲作、畑作、施設園芸、酪農、畜産くらいの部門別データはあつてしかるべきではないか。

会長	TPP等の対策については、国の対策ベースになるということで、市独自の対策が全く書かれていない。しかし、ここに書かれているブランド化や販売対応は、輸入農作物よりも有利な形で売っていくという手法なので、外圧対策になる。全く何もやっていないということではないのだから、これを、市の独自の対策として、農業振興計画に盛り込んでどうかと考える。
佐山委員	36ページの農畜産物加工品の認定数は、6次産業化の商品の認定数ということか。
農業振興課長	お見込のとおり。
佐山委員	6次産業化という文言を入れた方がいい。
農業振興課長	記載を工夫したい。
小走委員	36ページの4項目は、施策のどれに該当するのかわかりにくいので、きちんと示す必要があると思う。また、5年間の推移は、設定しているのか。
農業振興課長	1つの項目がいろいろな項目に関連していることもあるが、そこも含めて盛り込んでいく形で修正したい。また、現状値から（5年後の）目標に向かっての年次の目標数値については、（例えば）「農畜産物加工品の認定数」については、30年度は2件を予定しており、その後は1年に1件ずつ増えていくという設定をしている。そのような設定の仕方をしている。
会長	計画というのは目標があって実践があり、それに伴うような形での表記ということも重要かと思われるので、ご検討いただきたい。
会長	観光について述べたい。グリーン・ツーリズムも観光の一環ではあるが、これは農家の副業的な取り組みである。この計画では、もっと幅広く観光を捉えて、今後、農業と観光のタイアップを江別では行っていきますよといった主張を盛り込んでいただくのがよろしいのではないかと考えている。また、江別にキャッチフレーズを設定することについて、前はアーバンファームえべつなどというものではないかと申し上げたが、周辺市町村を見てみると、千歳市は「千産千消」という、やわらかいキャッチフレーズを用いて、農業サイドから都市住民の方々、あるいは市外の方々にも千歳に馴染んでもらおうと、いろいろな工夫をされている。江別でも、周辺の地域を意識しつつ、やわらかいキャッチフレーズを設定し、都市住民の方々、市外の方々に向けて、江別の魅力を発信する取り組みを今後見出し出してほしいと思っている。最後に、細かい内容は各事業計画に盛り込んでいくという話であったが、やはり、農業振興に関して欠かせない重要なことは、これまで盛り込んでこなかった内容のものであっても、何らかの形でこの計画に盛り込んでいいと考えている。農業に従事されている方は、各事業計画よりも農業振興計画を見る機会の方が多いのではないかとと思われる。そういう意味からも、重要なことは計画の方に盛り込んでいただきたい。
経済部次長	前回から引き続き、たくさんのご意見をいただき、ありがとうございます。1時間程度の時間の中で、たくさん内容をいただいたと認識しています。全体として修正が可能な部分、若しくは加筆ができる部分、全体の調整の中で残念ながらこの表現の中でご理解いただきたいということもあろうかと思えます。これらの部分はもう一度改めて検討させていただき、精査させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

会長	江別の農業が、盛り上がる、発展するような計画を作っていただきたいと思いますので、どうかよろしくお願いたします。また、危機意識をもっと持つべきだと改めて感じましたので、その点もふまえていただきたい。
会長	本日のご意見等に基づく修正案については、12月からパブリックコメントを実施することから、私に一任していただき、事務局と調整のうえ作成させていただきます。 1月に第4回経済審議会を開催する予定ですので、その際に、パブリックコメントの結果も踏まえ、事務局から、改めて修正案を提示していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。 それでは、次第の3、その他で、事務局から何かございますか。
農業振興課長	今後の予定ですが、修正案について、11月29日に開催される経済建設常任委員会へ報告したあと、12月5日から1月7日までパブリックコメントを実施し、その結果を踏まえて、第4回経済審議会を1月中旬に開催したいと考えております。後日、日程の照会をさせていただきますので、よろしくお願い致します。
会長	閉会のことば